

西南学院大学 2023年度卒業生調査

【調査結果報告書】

実施概要

- **調査趣旨：**
 - 本学が掲げる「卒業認定・学位授与の方針」に定める資質・能力について、卒業生が在学中の学びを通して、どの程度修得できたと実感されているか、また、それらの資質・能力が社会においてどの程度役に立っているかを把握し、本学の教育改善に活用することを目的とする。
- **実施対象：**
 - 2018年度、2019年度及び2020年度本学卒業生（5328名）
- **実施方法：** Webによる調査
- **実施期間：** 2023年4月17日(月)～7月15日(土)
- **回答数：** 193件（回答率：3.6%）

調査項目

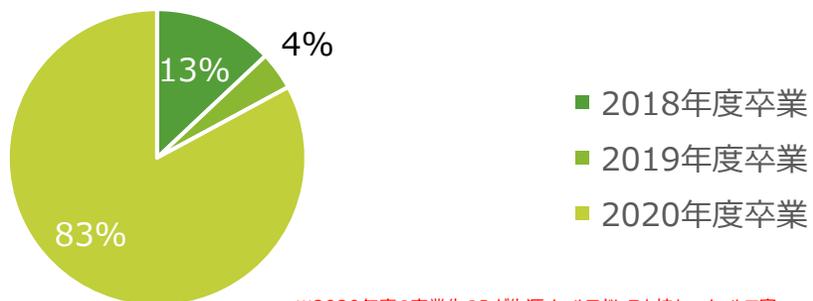
- ① 「卒業認定・学位授与の方針」について
- ② 西南学院大学での教育や支援について
- ③ ご自身の性格・志向について
- ④ 西南学院大学の支援について
- ⑤ 西南学院大学の総合的な評価について

※個人を特定できる情報が含まれている内容に関しては、本資料への掲載は控えさせていただいております。

回答者の属性

学科名	人数	%	学科名	人数	%
法律学科	27	14.0%	心理学科	13	6.7%
国際文化学科	23	11.9%	外国語学科英語専攻	12	6.2%
経済学科	22	11.4%	外国語学科フランス語専攻	11	5.7%
国際関係法学科	15	7.8%	英文学科	10	5.2%
社会福祉学科	14	7.3%	児童教育学科	10	5.2%
商学科	14	7.3%	国際経済学科	6	3.1%
経営学科	13	6.7%	神学科	3	1.6%

卒業年度



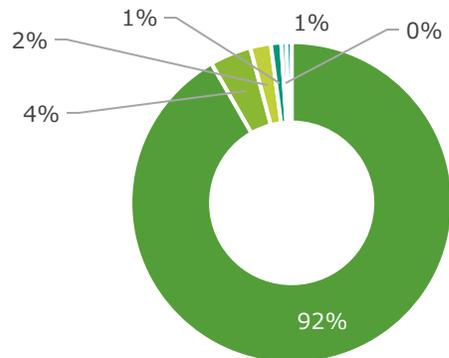
※2020年度の卒業生のみが生涯メールアドレスを持ち、メールで案内できたため2020年度卒業生の回答割合が高い結果となっている。

現在の居住地

都道府県	回答数	割合	都道府県	回答数	割合
福岡県	116	60%	大分県	2	1%
東京都	15	8%	兵庫県	2	1%
神奈川県	8	4%	北海道	2	1%
熊本県	7	4%	愛知県	1	1%
大阪府	7	4%	海外	1	1%
佐賀県	6	3%	群馬県	1	1%
長崎県	6	3%	山口県	1	1%
埼玉県	4	2%	山梨県	1	1%
(空白)	4	2%	滋賀県	1	1%
沖縄県	2	1%	静岡県	1	1%
鹿児島県	2	1%	鳥取県	1	1%
千葉県	2	1%			

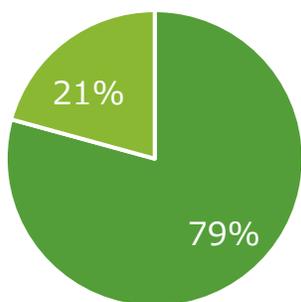
回答者の属性

現在の就業形態



- 正規の職員・従業員
- パート・アルバイト・派遣社員・契約社員・委託
- 自営業主
- 就業していない

卒業後最初についたお仕事は、現在も継続されていますか



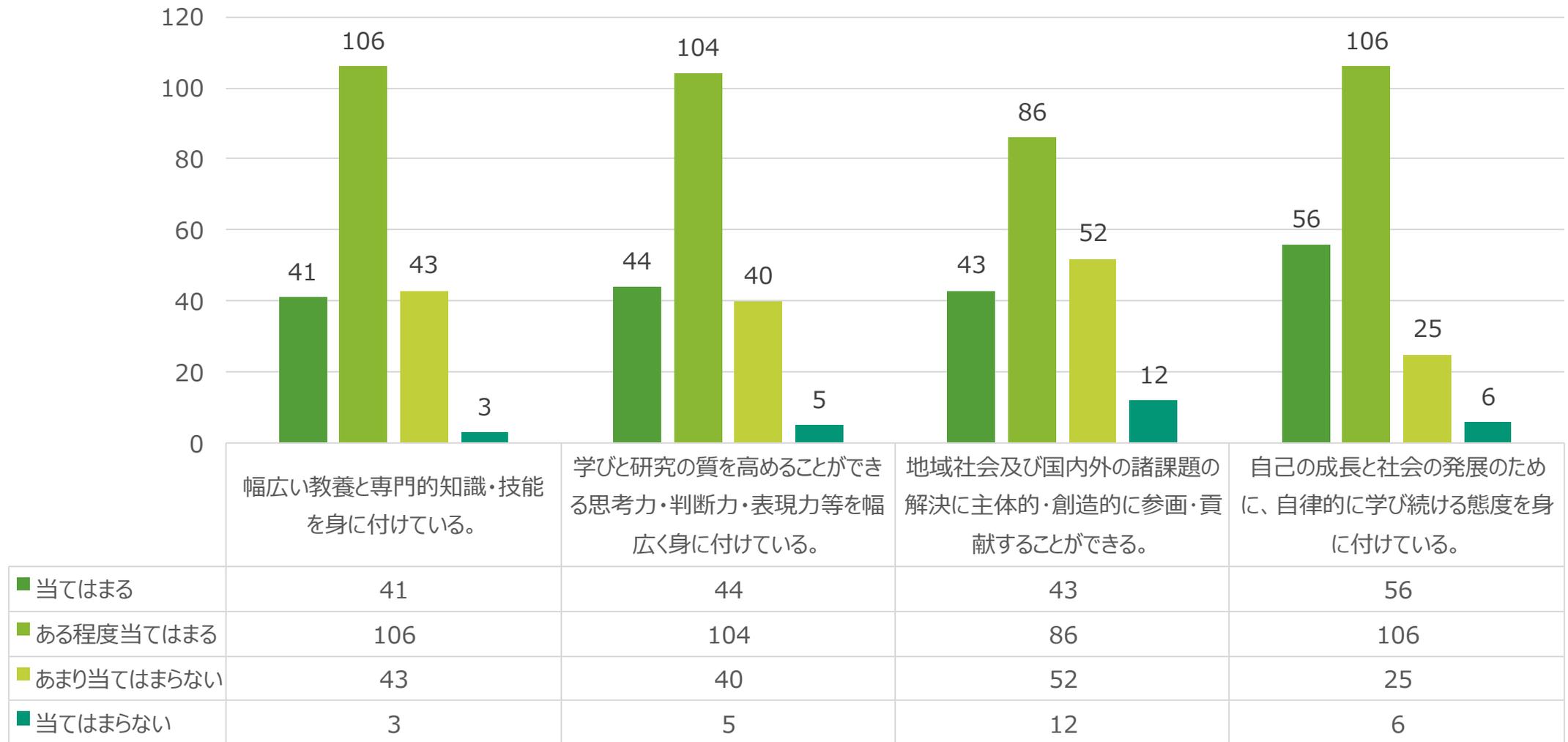
- はい
- いいえ

現在働いている企業・団体等の業種

業種	人数	▼その他回答▼			
教育・学習支援	29	サービス業	2	人材	1
情報通信・情報サービス	23	JA	1	人材派遣	1
金融（銀行・証券・保険）	21	SNSマーケティング	1	製造業	1
医療・福祉	18	モデル事務所	1	団体職員	1
公務員	17	医薬品メーカー	1	通信販売	1
専門サービス（法律・会計・広告・コンサルティング）	10	飲食	1	電子機器	1
不動産・建設・住宅	10	営業事務	1	農林水産	1
交通（航空・鉄道・バス）	8	音楽・アーティスト	1	博士課程学生	1
観光・宿泊・ブライダル	7	音楽家	1	無職	1
鋳工業（メーカー）	6	機械メーカー	1		
電気・ガス・水道	6	経済団体	1		
小売・アパレル	5	研究室教授秘書	1		
マスメディア（テレビ・新聞・雑誌）	3	自動車業	1		
卸売（商社）	3	食品大手 人事職 新卒採用担当	1		
物流	3				

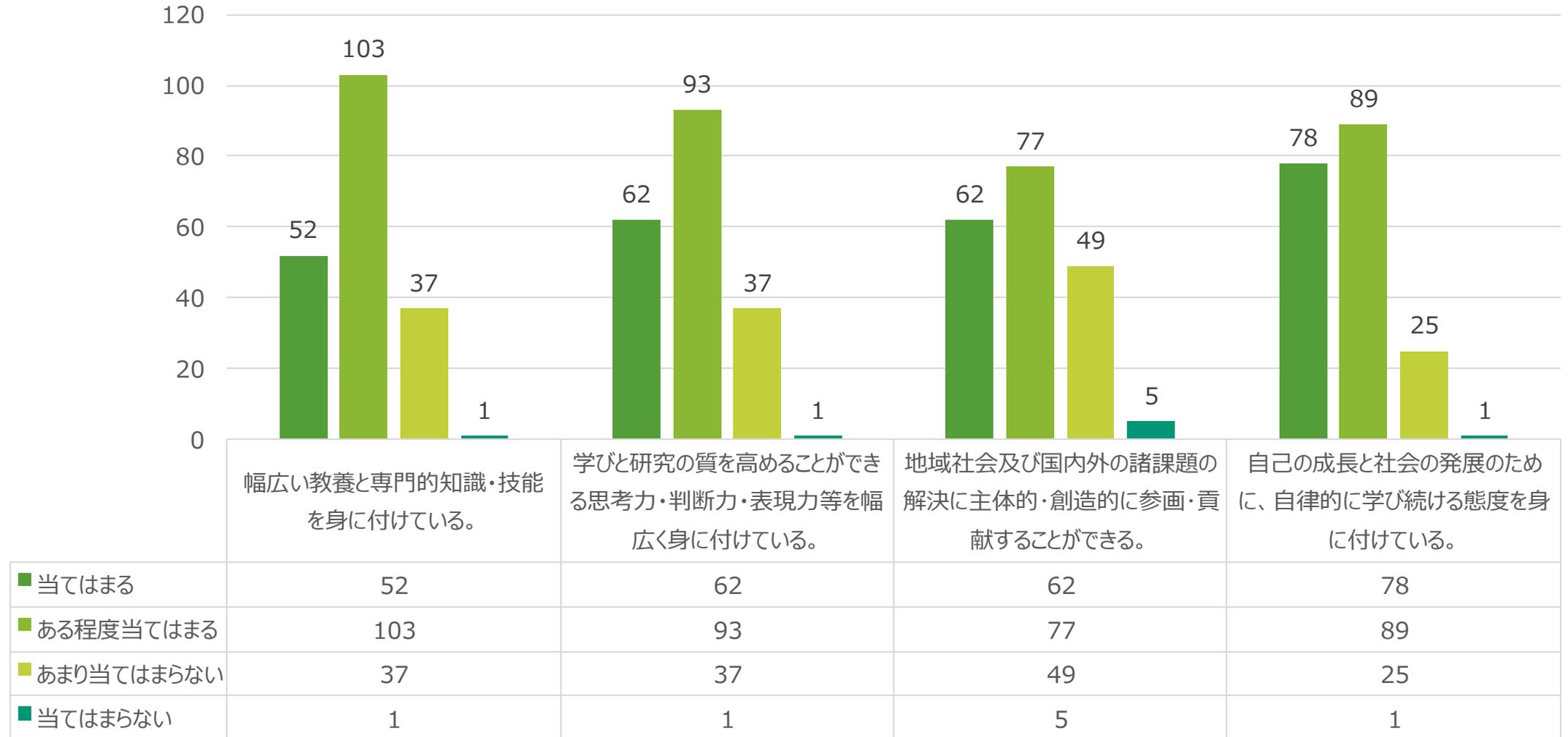
1. 「卒業認定・学位授与の方針」について

現在の生活から大学時代を振り返り、**西南学院大学での授業における学び**を通じて、以下に掲げる資質・能力が**身に付いた**と思いますか。

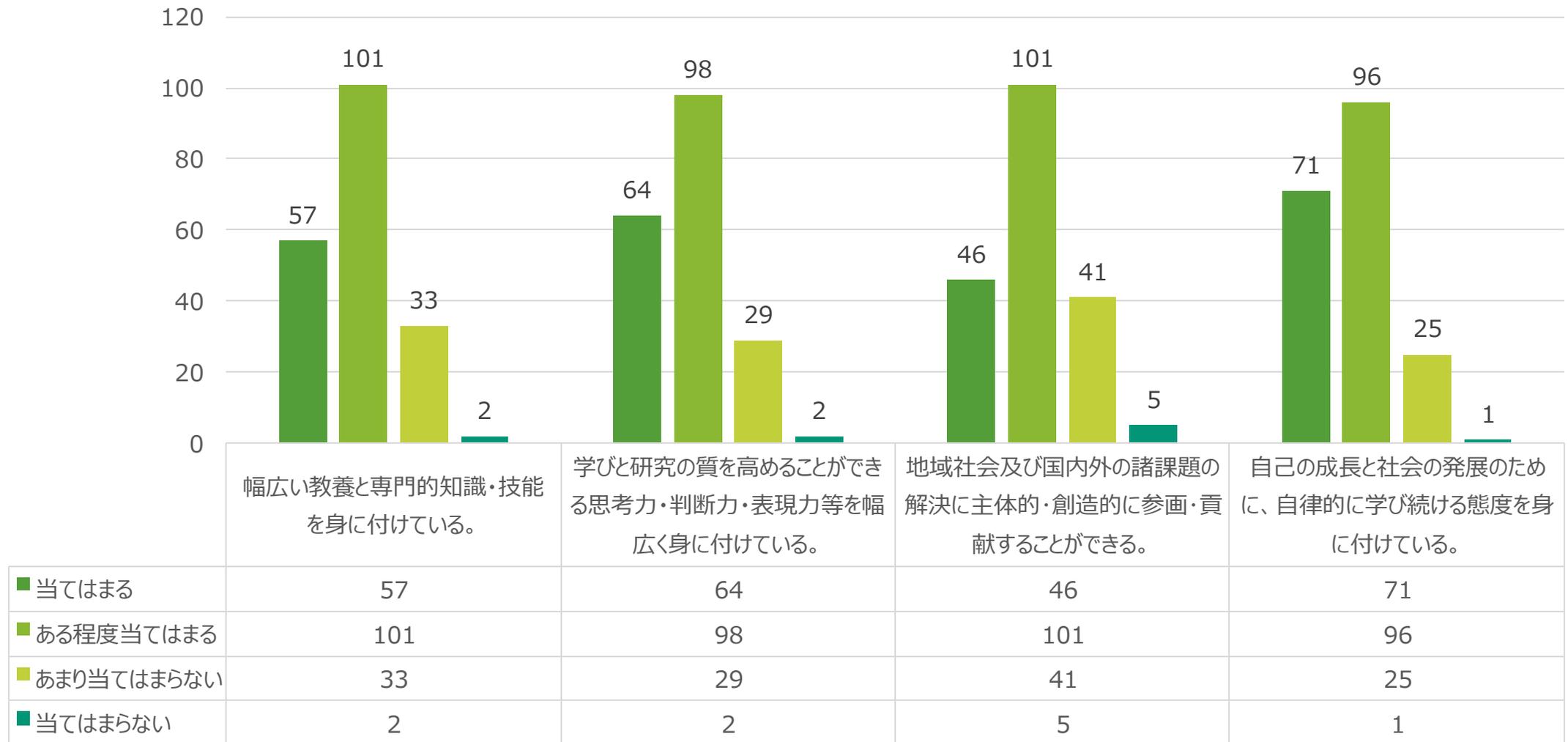


1. 「卒業認定・学位授与の方針」について

現在の生活から大学時代を振り返り、**西南学院大学での授業以外**の経験を通じて、以下に掲げる資質・能力が身に付いたと思いますか。



現在の生活において（仕事・仕事以外問わず）、以下の資質・能力が役に立っていると思いますか。



【総括】大学時代に身についたと感じるもの

- 「身についた」と答えた項目は、【態度・志向性】に関するものが多い一方、「身につけていない」と答えた項目は、「データ分析力」や「語学力」といったスキルに関するものが多い

身についた、あるいはある程度身についたと答えた人数

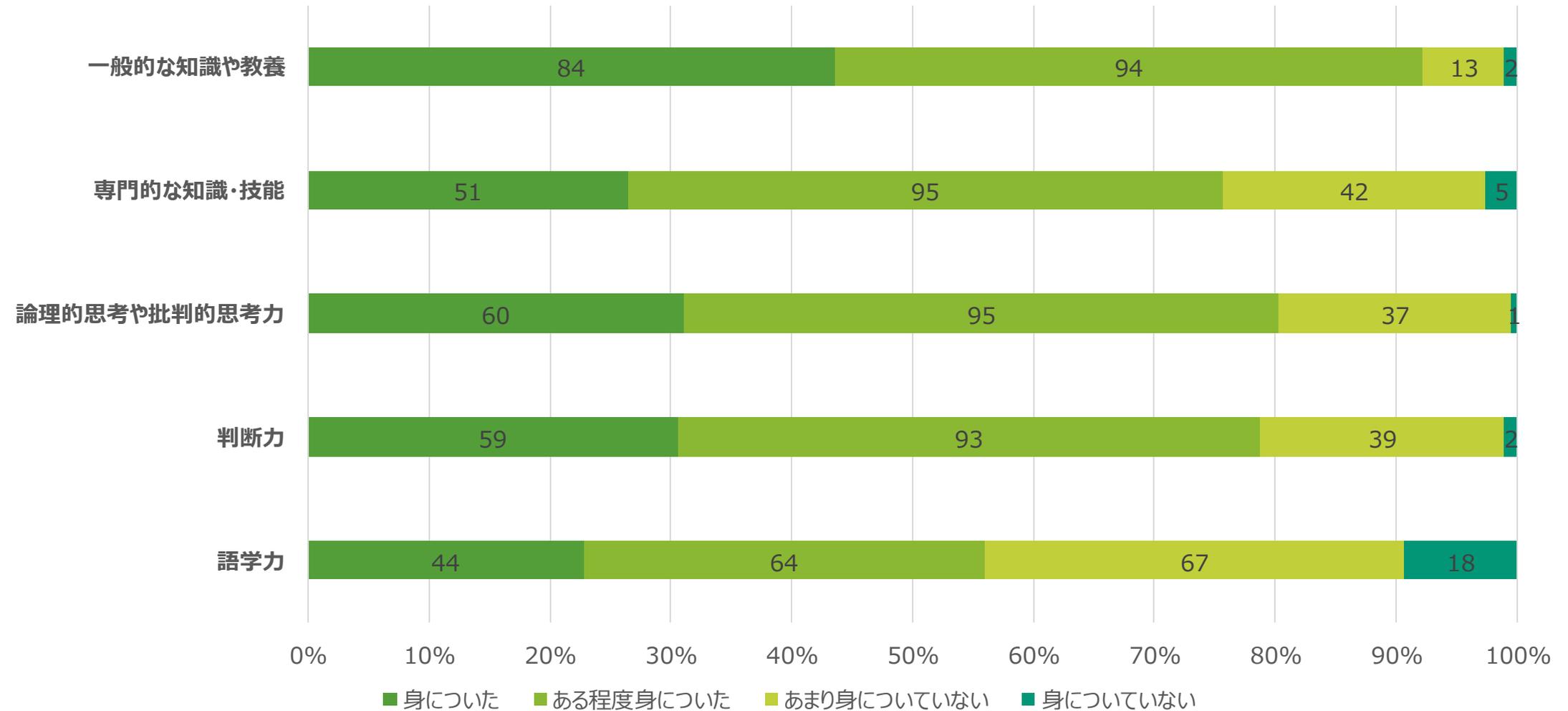
1位	一般的な知識や教養 (178)
2位	コミュニケーション力 (176)
3位	人間性や倫理観 (170)
4位	学び続ける姿勢 (168)
5位	自己管理能力 (164)

身につけていない、あまり身につけていないと答えた人数

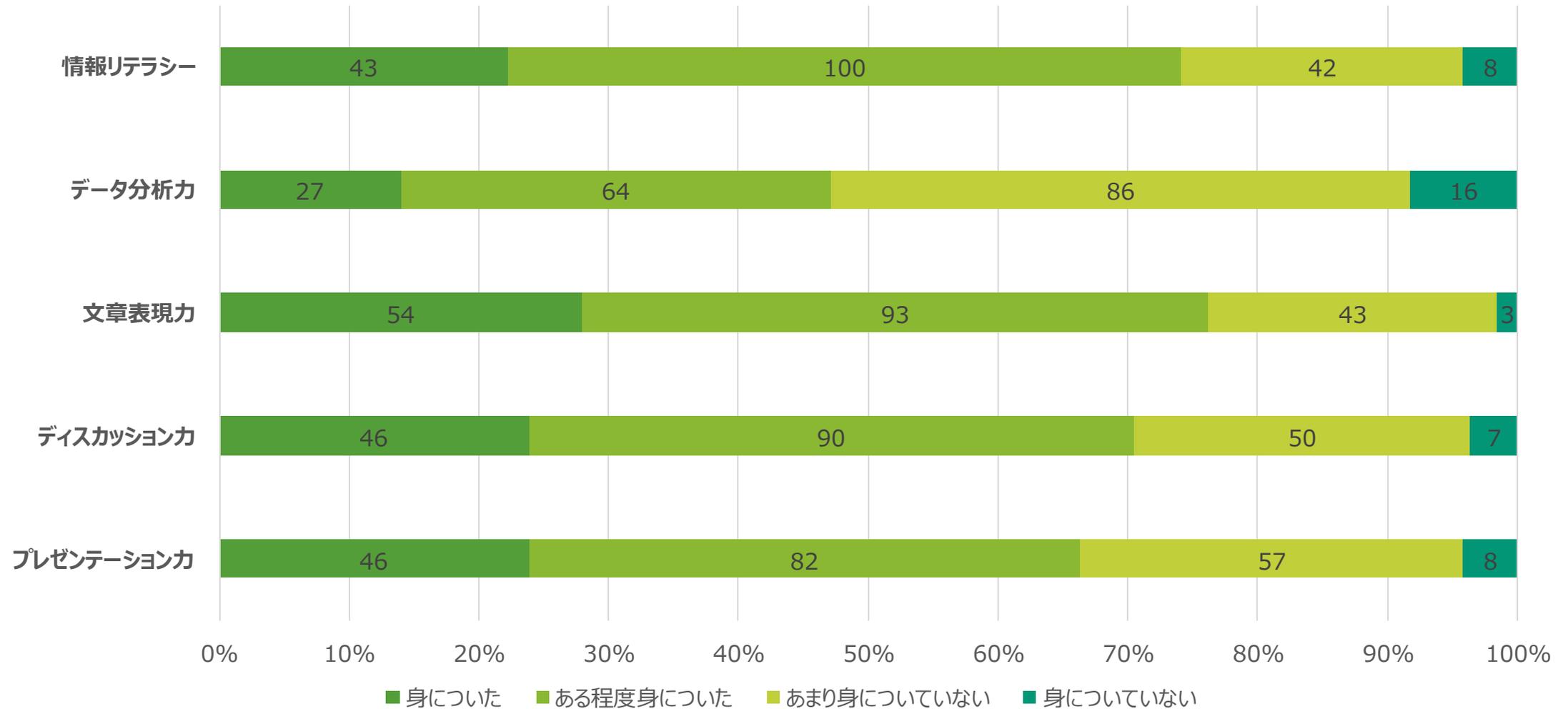
1位	データ分析力 (102)
2位	語学力 (85)
3位	キリスト教精神 (82)
4位	リーダーシップ (71)
5位	プレゼンテーション力 (65)

大学時代に身についたと感じるもの

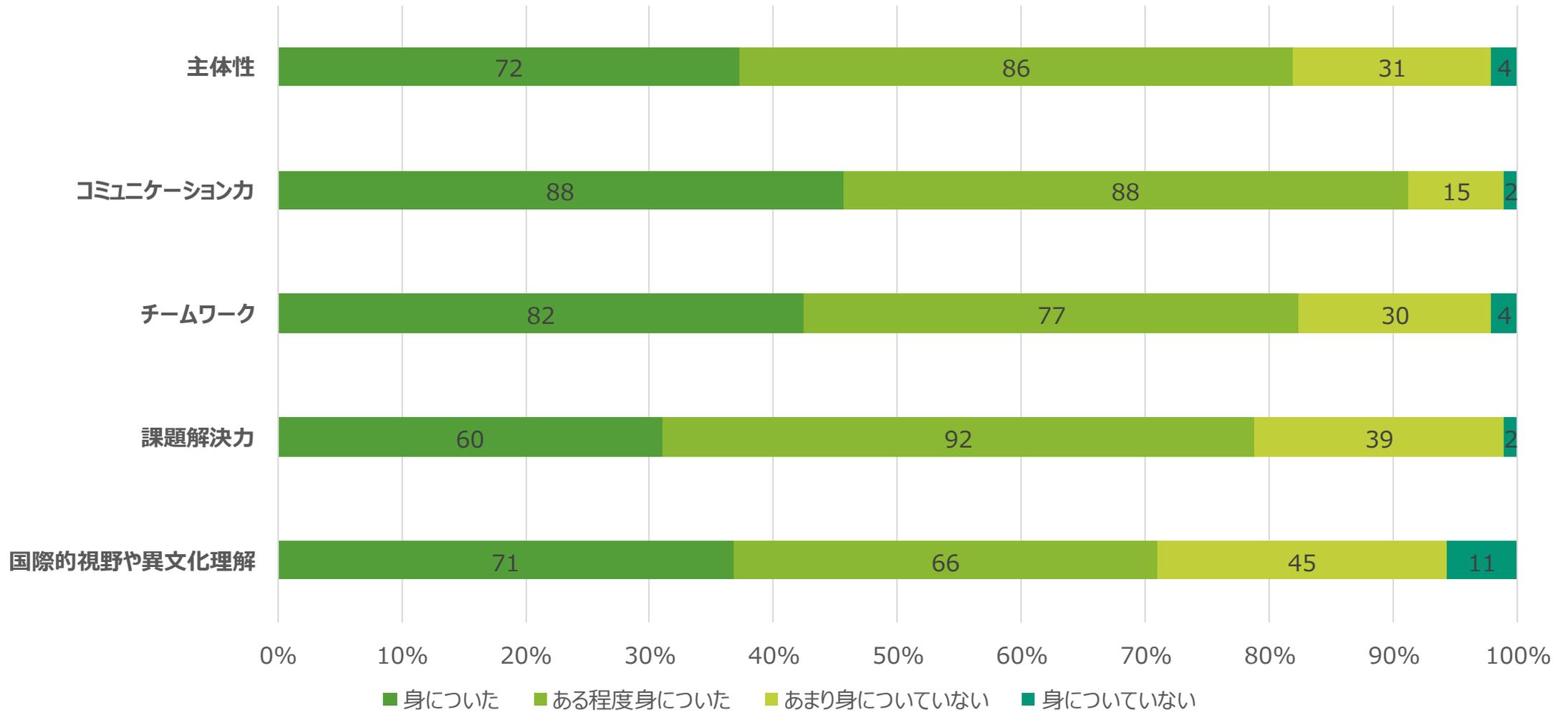
(一般的な知識や教養、専門的な知識・技能、論理的思考や批判的思考力、判断力、語学力)



大学時代に身についたと感じるもの (情報リテラシー、データ分析力、文章表現力、ディスカッション力、プレゼンテーション力)

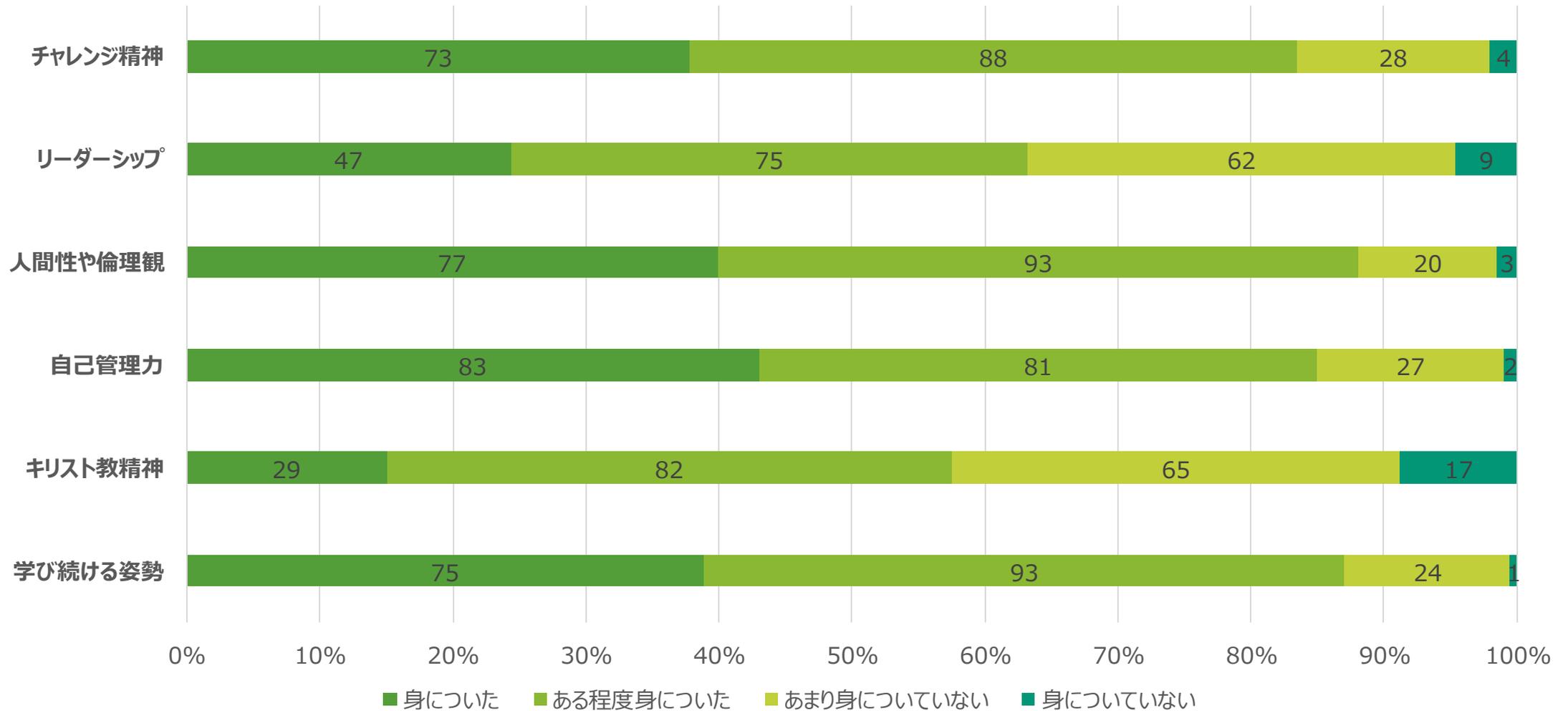


大学時代に身についたと感じるもの (主体性、コミュニケーション力、チームワーク、課題解決力、国際的視野や異文化理解)



大学時代に身についたと感じるもの

(チャレンジ精神、リーダーシップ、人間性や倫理観、自己管理力、キリスト教精神、学び続ける姿勢)



【総括】大学時代にもっと身につけておけばよかったと感じるもの

- 項目上位の「語学力」「専門的な知識・技能」「プレゼンテーション力」「文章表現力」は、社会人基礎力として、必要な力を大学時代に身につけておきたかったことが伺える。特に、「語学力」「プレゼンテーション力」は在学中に身につけることができなかった項目の上位にも挙がっている。

当てはまる、ある程度当てはまると答えた人数

1位	語学力（165）
2位	専門的な知識・技能（163）
3位	プレゼンテーション力（160）
4位	文章表現力（158）
5位	課題解決力（154）

当てはまらない、あまり当てはまらなると答えた人数

1位	キリスト教精神（99）
2位	チームワーク（66）
3位	人間性や倫理観（63）
4位	自己管理能力（59）
5位	国際的視野や異文化理解（55）

【その他】大学時代に身についたと感じるもの

その他意見

【ゼミ】ゼミでディベートを行っていたこともあり、仕事におけるミーティングの場面でも、話す・考える力が活かされているように感じる。

コミュニケーション能力

チャレンジ精神。ゼミやISLの取り組みを通じて身についた能力だと思う。

プレゼンテーション力、論理的思考

リーダーとしての振舞い方、ビジネスマナー

一生の仲間を得ることができた。

学び続ける姿勢の大切さを先生方や友達から教えてもらいました。

客観的に物事を見ること。

共同生活

語学力

語彙力

行動力と語学力。長期休暇を使って海外にたくさん足を運びました。

視野を広く持つ、という意識。他者が持つバックグラウンドへの理解

資格

新しい環境に挑戦する勇気、力

責任感

想像力、あるものをそのままではなくゼロからつくる、考える力、思考力

他者許容力

大学の授業（特にゼミの授業）では「プレゼンテーション力やコミュニケーション能力」を、アルバイトでは「社会に貢献することの大切さやお金の大切さ」を、部活動では「一つの目標に向かって努力することの大切さ」を肌で感じると同時に、少しは身についたとも思っています。

独学する力

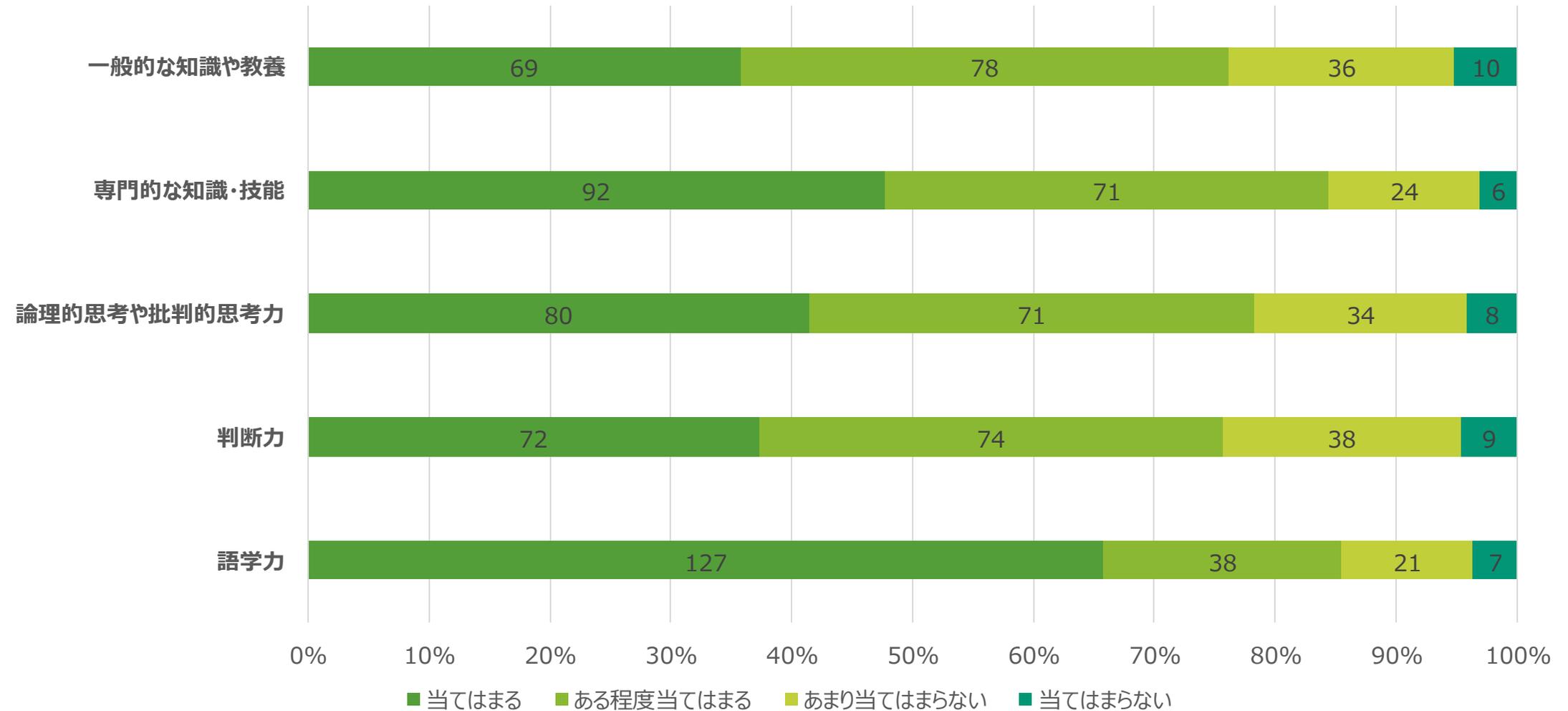
忍耐力

物事に対する様々な考え方が身についたと感じております。

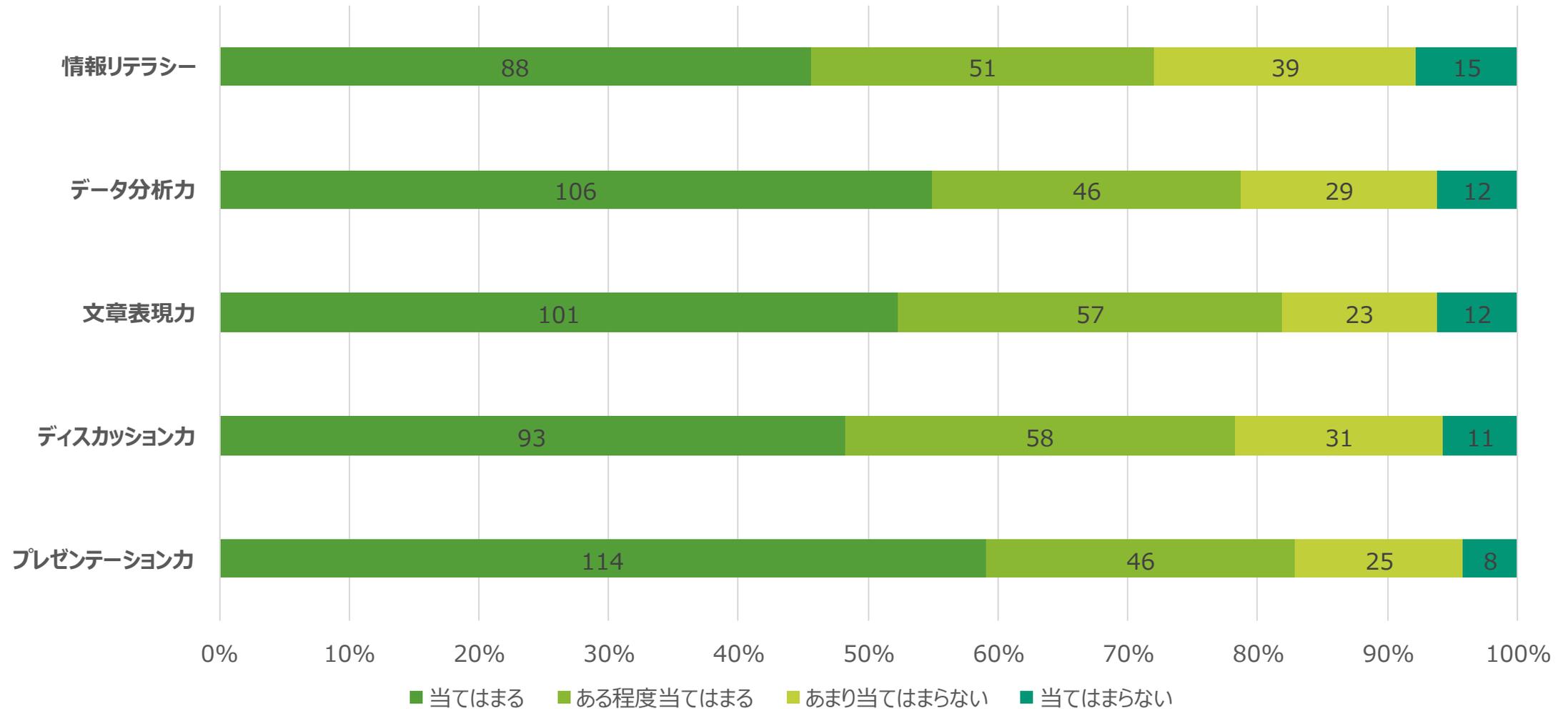
ひとり暮らしへの慣れ

大学時代にもっと身につけておけばよかったと感じるもの

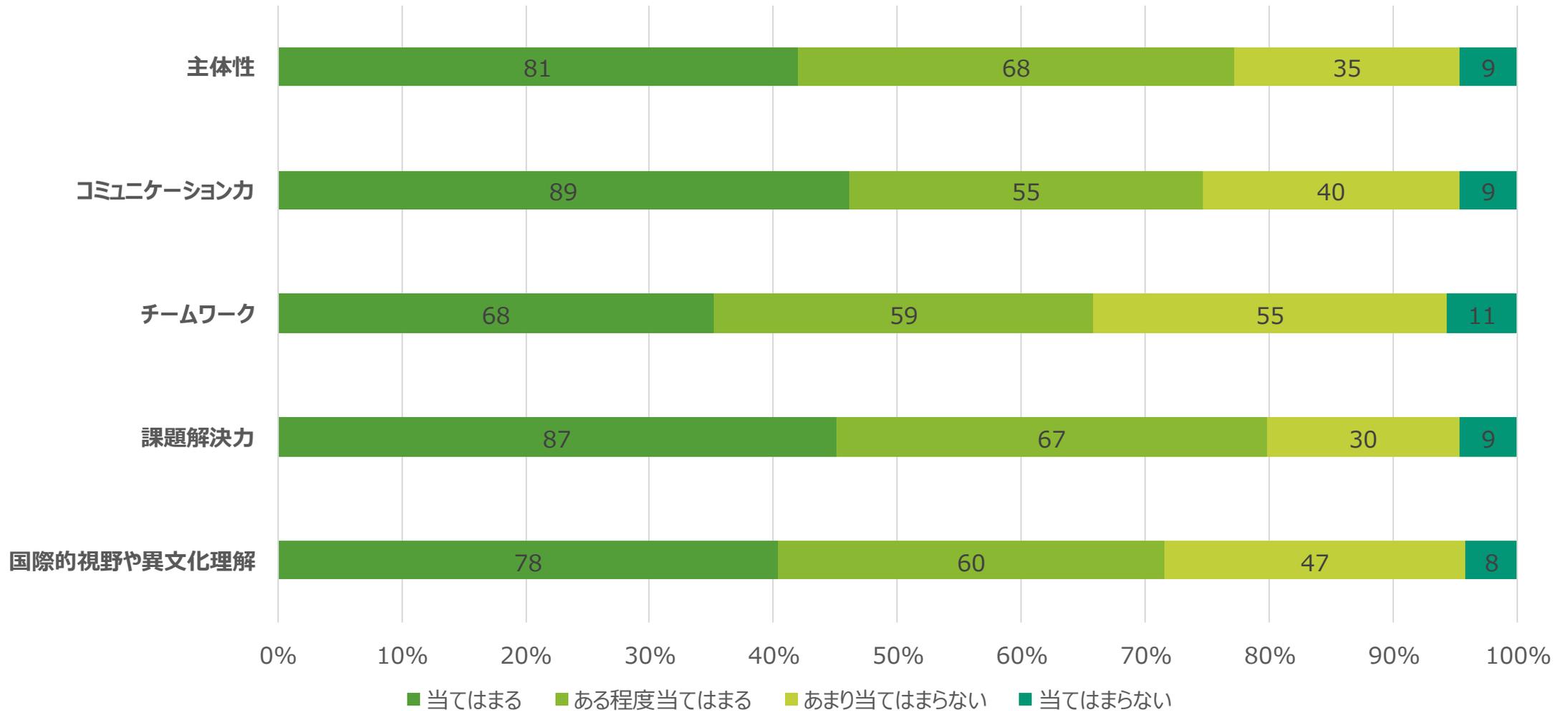
(一般的な知識や教養、専門的な知識・技能、論理的思考や批判的思考力、判断力、語学力)



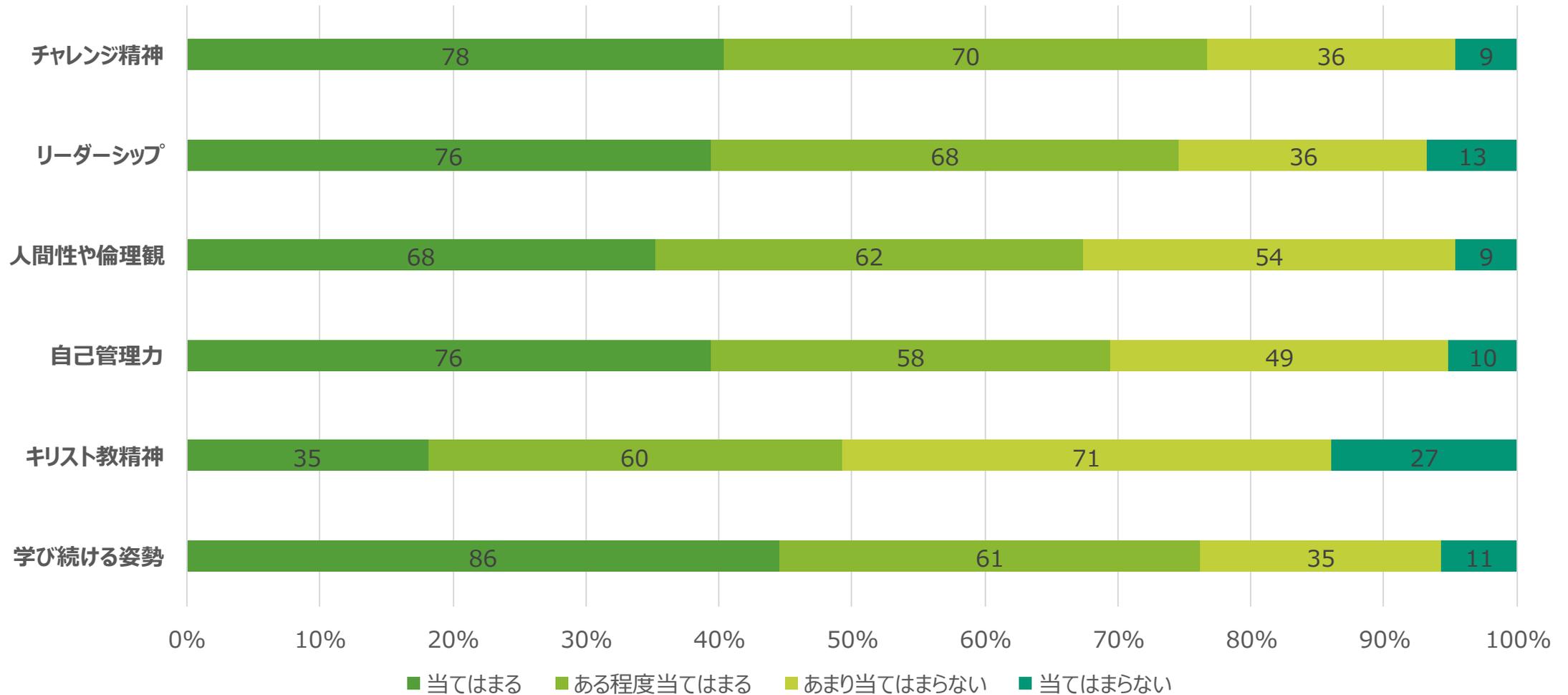
大学時代にもっと身につけておけばよかったと感じるもの (情報リテラシー、データ分析力、文章表現力、ディスカッション力、プレゼンテーション力)



大学時代にもっと身につけておけばよかったと感じるもの (主体性、コミュニケーション力、チームワーク、課題解決力、国際的視野や異文化理解)



大学時代にもっと身につけておけばよかったと感じるもの (チャレンジ精神、リーダーシップ、人間性や倫理観、自己管理力、キリスト教精神、学び続ける姿勢)



【その他】大学時代にもっと身につけておけばよかったと感じるもの

その他意見

Excel、Word、PowerPointなどのPCスキル

office(word,Excel,Powerpoint)・Accessのスキル、企画力

どれも大切です。特に思うのは知識よりもなぜその知識が必要なのか、を追求すれば良かったと思います。例)商学科出身で簿記検定を取得する理由→税理士試験につながる→大学中に年に2科目合格すると卒業までに税理士になれる→年収があがる可能性、自分ができることの可能性が広がる等

なにかに特化した専門的知識

プレゼンテーション能力。顧客に対して商材を購入してもらえるためにはどうすればよいかと考えた際に他者との比較や自分の商材の良いところを伝えるために必要となると考えるから。

もっと資格の勉強に取り組んでいれば良かったと思う。学生団体での活動に注力してしまい、あまり学業に専念できなかった。

英語力

学べること全て。もっと勉強したかった

経営学

経済学のことはもっと真剣に授業を聞いておけば良かったなと思っています。ただし、社会に出でからしか分からなかったこともたくさんあるため、今度リカレントカレッジ（学び直し）を利用しようと思っています。

語学の勉強、ボランティア

語学の勉強。仕事で英語を使用する機会が多いため、スムーズにアウトプットする能力

資格取得

自己分析能力 アドラー心理学

自分のやりたいことをもっと早く見つけられていれば、そこに対してより前のめりに行動できていたと思う。音楽的知識、教養。教育関係の仕事には就いていないが、もっと教育に関しても深く学んでいれば今により活かせた気がしています。

趣味や好きなことを見つける力

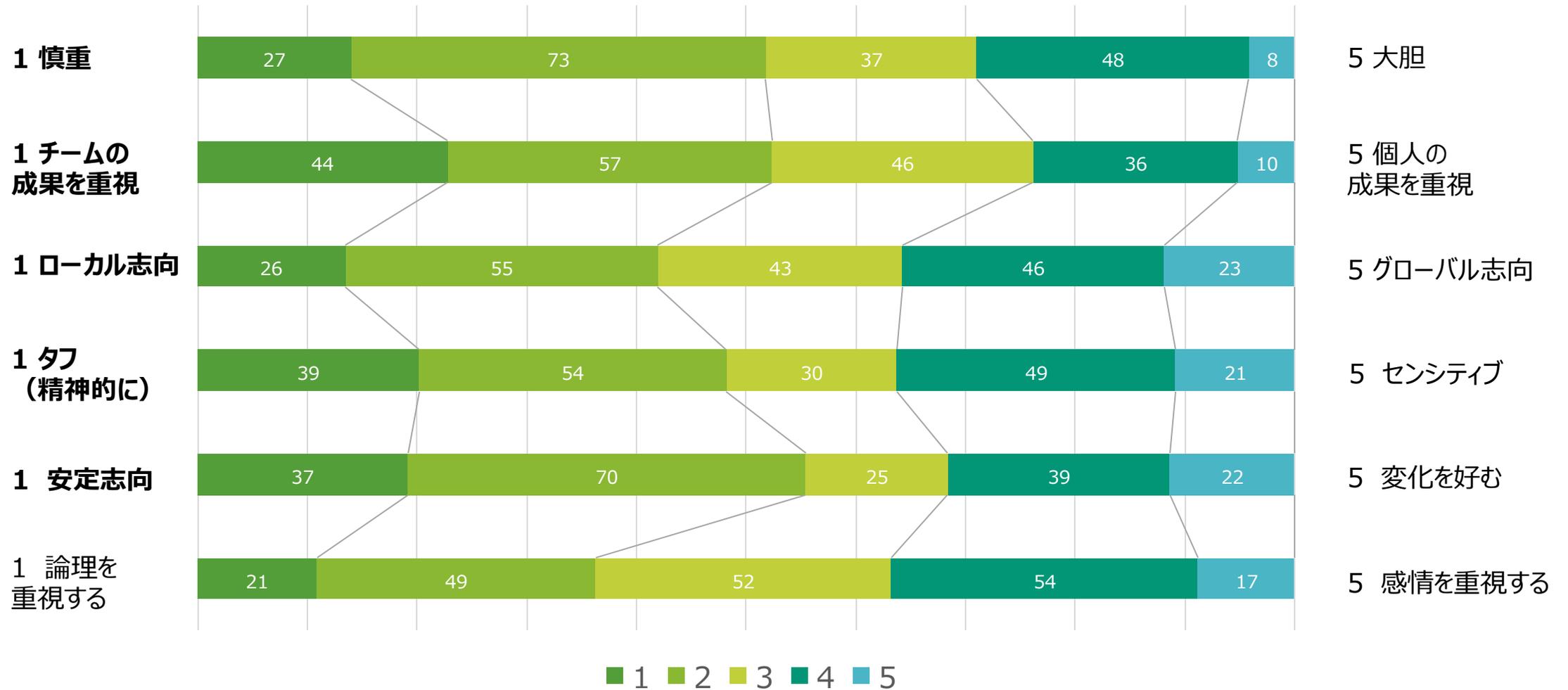
授業で取り扱わない社会の仕組み

人前で日本語で話す力

文章表現力、プレゼンテーション能力、情報リテラシー、データの解析や収集力は社会人になって、重要性を痛感しています。

留学へのチャレンジ精神

ご自身の性格・志向について【5段階評価】



【総括】西南学院大学の支援について

- 本学の強みの一つである海外留学・国際交流に関する支援が最も充実していたと回答。次に、学修支援、部活・サークル活動が続く。
- 今後、支援が期待されるものとして、「進路支援」の項目が最も多かった。また、海外留学、国際交流も2番目に多く、継続的な支援が期待されている。

大学在学中に支援が充実していたと感じるもの 【当てはまると答えた人数】

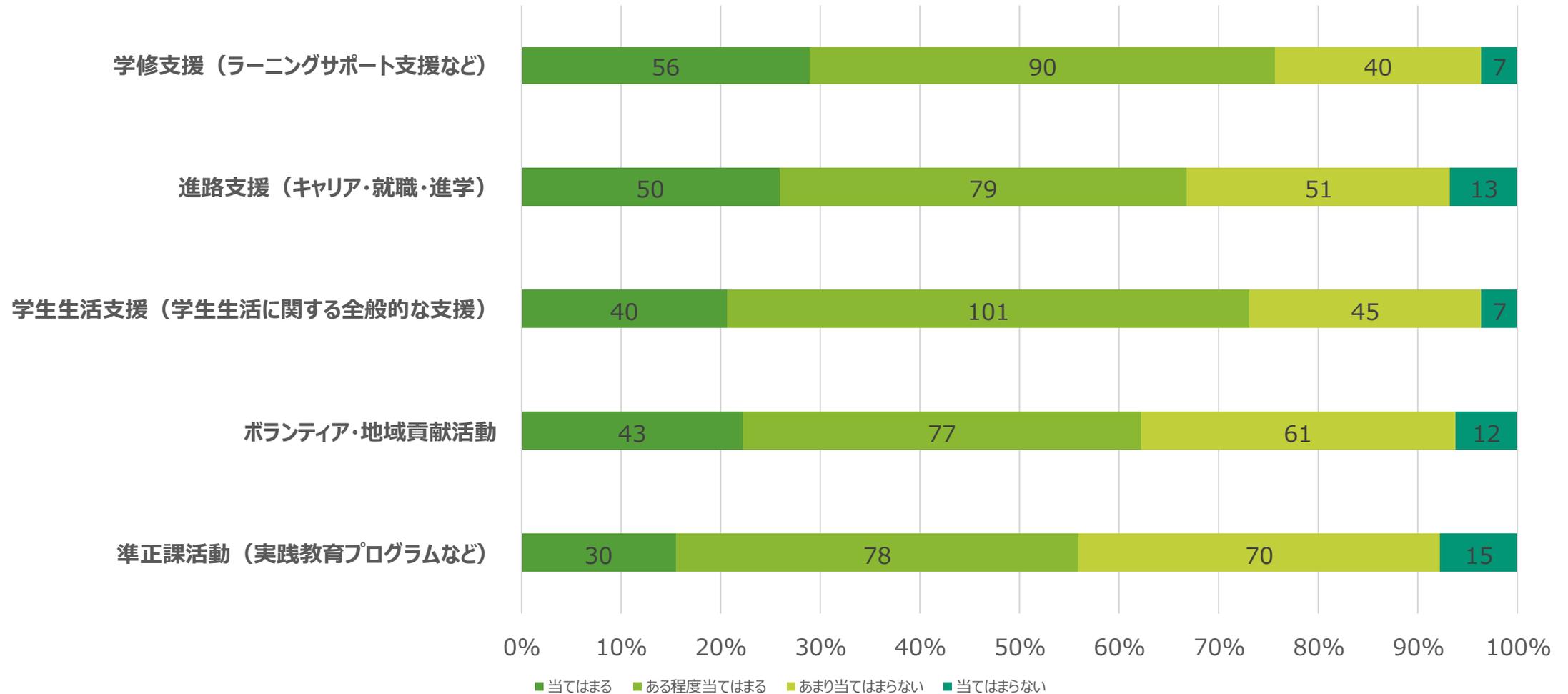
1位	海外留学・国際交流
2位	学修支援 (ラーニングサポート支援など)
3位	部活・サークル活動 (運動系)
4位	進路支援 (キャリア・就職・進学)
〃	部活・サークル活動 (文化系)

今後の社会動向等を踏まえ、支援を充実させることが望ましいと感じるもの【当てはまると答えた人数】

1位	進路支援 (キャリア・就職・進学)
2位	海外留学・国際交流
3位	学生生活支援 (学生生活に関する全般的な支援)
4位	学修支援 (ラーニングサポート支援など)
5位	準正課活動 (実践教育プログラムなど)

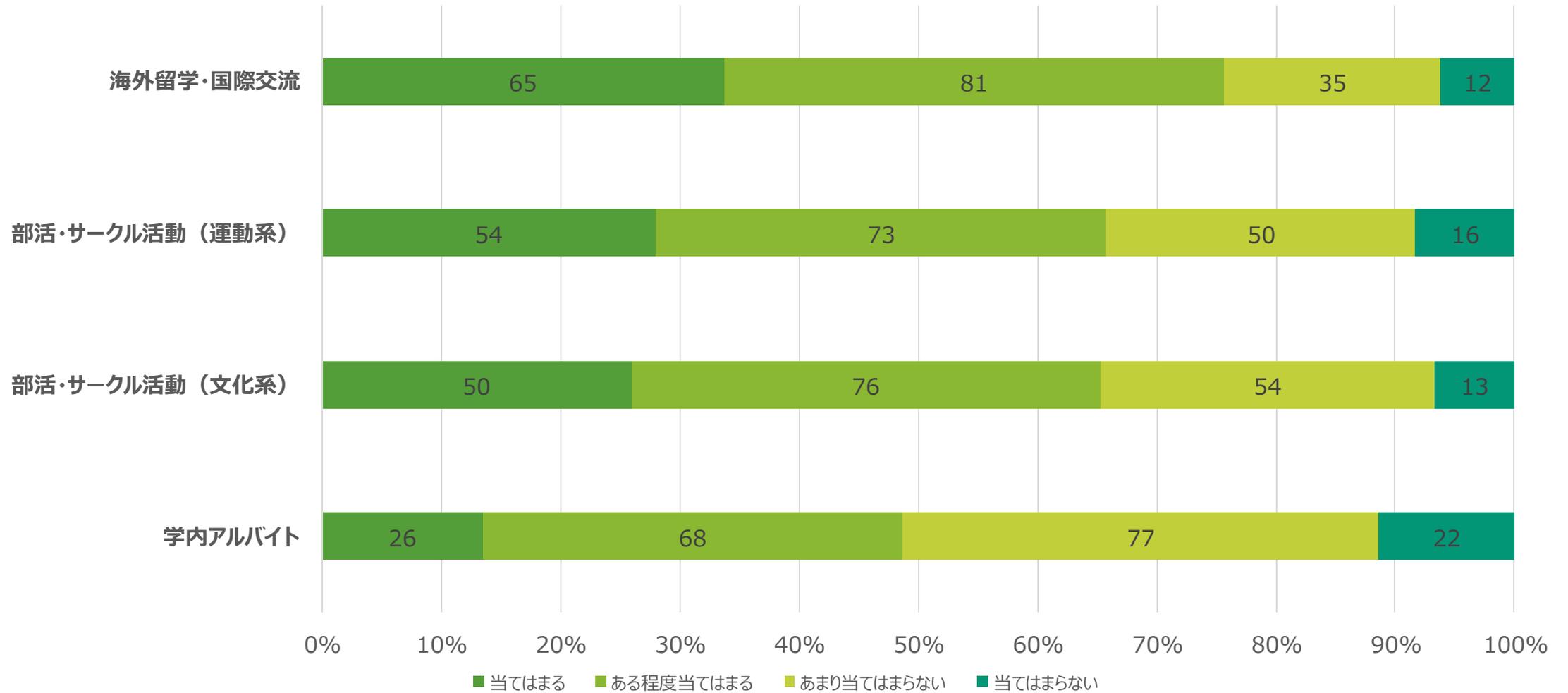
大学在学中に支援が充実していたと感じるもの

(学修支援、進路支援、学生生活支援、ボランティア・地域貢献活動、準正課活動)



大学在学中に支援が充実していたと感じるもの

(海外留学・国際交流、部活・サークル活動（運動系、文化系）、学内アルバイト)



【その他自由記述】大学在学中に支援が充実していたと感じるもの

学修支援関連

学修支援は充実していたと実感しております。

SA制度

生協の公務員講座、オフィスアワー

環境的支援(学生が安心して心地よく使える図書館や言語教育センター等の施設)

進路支援関連

就職活動支援はよく利用させてもらっていました。

就職支援。法学部独自の取り組みだったように思えますが、ESの添削、GD、面接対策等、多くの講座があり活用して良かったと思える。

キャリアセンター。就活の際に親身になって聞いてくれたことを今でも覚えているため。

学生生活支援

サークル活動

成績優秀者奨学金などの各種奨学金

フィリピンの海外ボランティアに参加した際に、より学びを深めるためのサポートが手厚かったなと強く感じます。

学生課の方々のアドバイス

海外留学・国際交流

海外へ行く際の支援、プログラム、海外交流

国際交流イベント、言語教育センター等の語学教育支援

その他

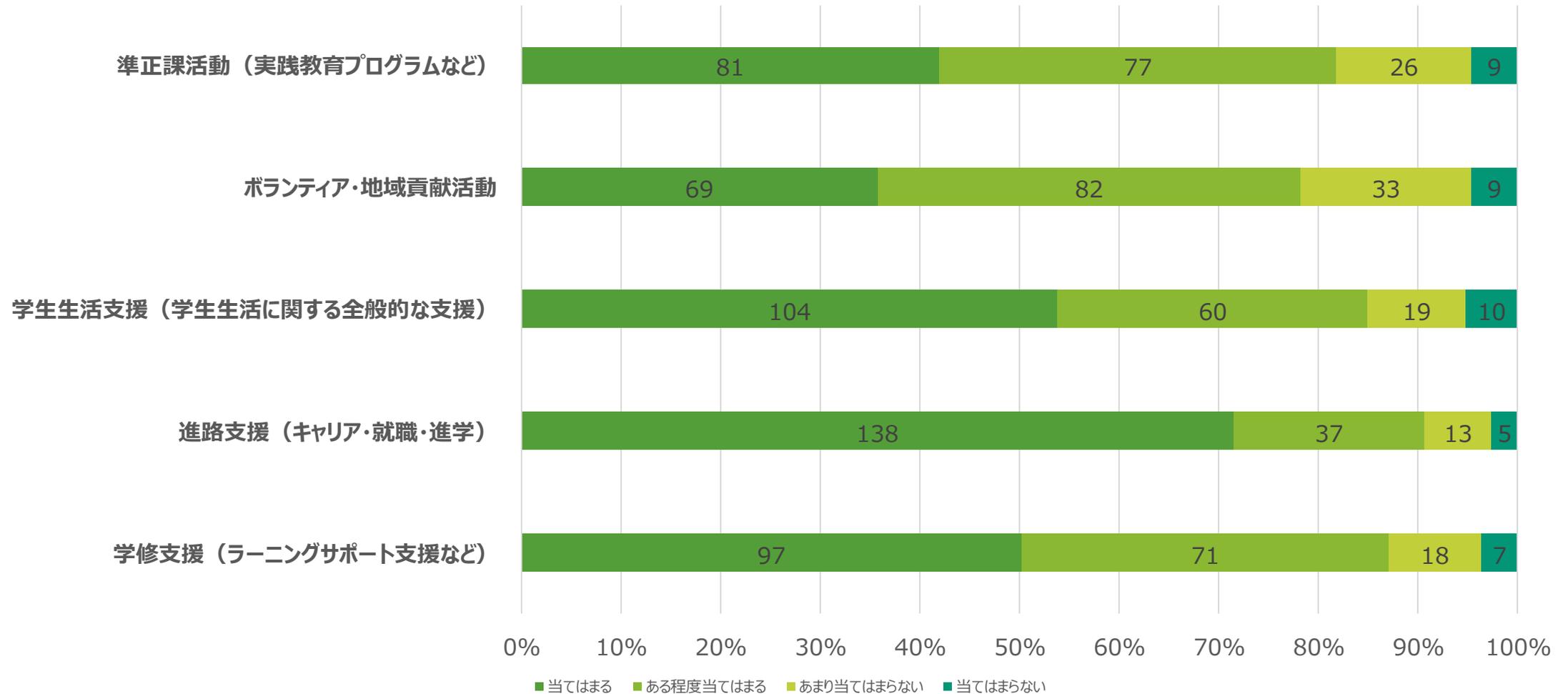
VisMootの活動

先生方との関係づくり

全てにおいて充実していたが、活用の仕方や支援そのものを知らなかった。

東京オフィス、カウンセリング

今後の社会動向等を踏まえ、支援を充実させることが望ましいと感じるもの (学修支援、進路支援、学生生活支援、ボランティア・地域貢献活動、準正課活動)



今後の社会動向等を踏まえ、支援を充実させることが望ましいと感じるもの (海外留学・国際交流、部活・サークル活動（運動系、文化系）、学内アルバイト)



【その他自由記述】今後の社会動向等を踏まえ、支援を充実させることが望ましいと感じるもの

4年間の行動計画、振り返り、低学年でのキャリア教育など

準正課活動への支援。学生のアルバイトで交通費などを賄うには非常に厳しいので、支援を充実して頂きたいです。

おカネの知識

キャリア支援と学生時代にしか経験できない物事双方への支援

プログラミングや情報処理を4年間必須にすべき。

TOEFLではなくTOEICに注力すべき。

進級の基準を厳格にすべき。(4年生から留年ではなく、1～2年生の間でも留年する可能性があるように試験を設けるなど)

1年間学んだことが継続できず、忘れてしまうスキルが多かったため、4年間必須の科目を設けるべき。

会計税務業界の進路支援

学修支援国際交流とキャリア支援は充実すればより良くなるのではないかと考えております。

学生の精神面に関する支援。定期的にアンケートを取るなど

金融リテラシー、語学力、地方企業、ベンチャー企業へのインターンシップなど

資格取得制度

児童教育学科以外の学科から教員になろうとしている学生に向けてのサポート

自律的に考え、行動する力と、その動機を養う機会。

社会に出て、心身の健康が1番大切だと感じました。大学では物質的な支援（奨学金など）は充実していても、心理的な支援が少ないように感じました。（私が利用できていなかったかもしれませんが、）

大学生でも人間関係など様々なことで悩んでいる人は多いと思うので、公認心理士や精神科医などを配置し、気軽に相談できる環境があればいいなと思いました。

そうすれば社会に出て落ち込んでしまった時にもすばやく対応できると思います。

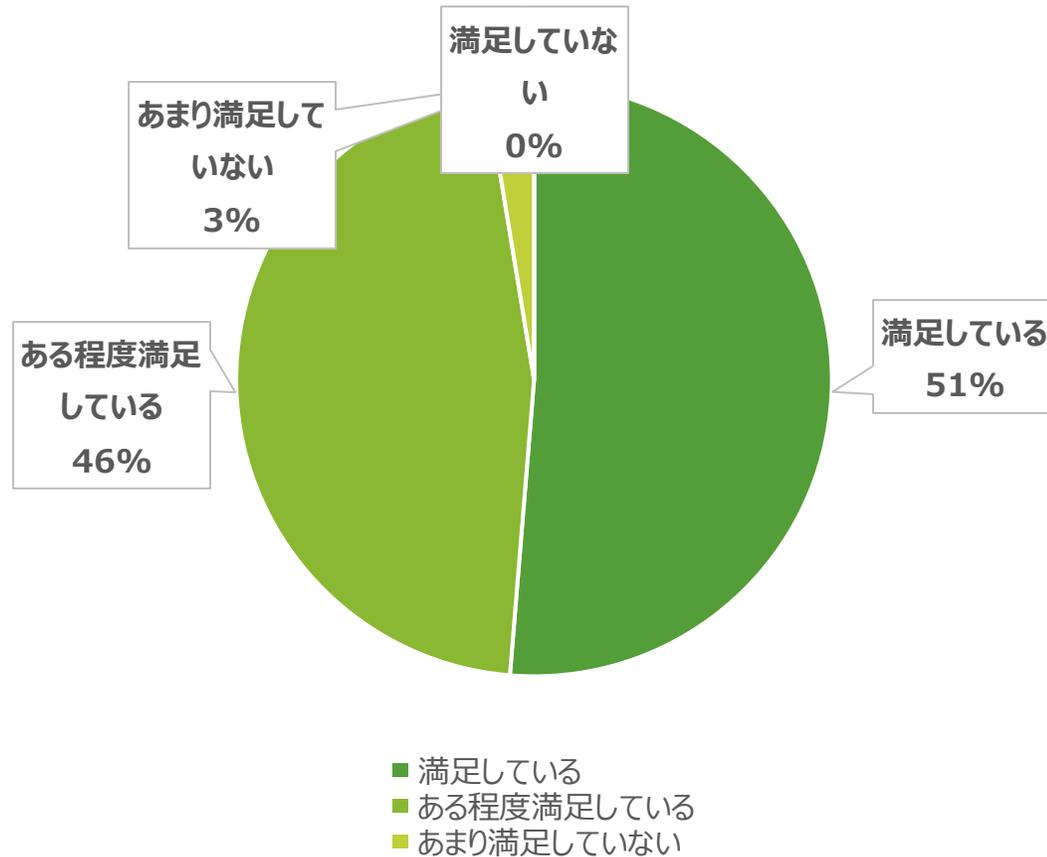
就職支援

障害者や高齢者等に対する福祉活動

返還無し奨学金制度の拡大

西南学院大学への総合的な評価について

西南学院大学にへの総合的な満足度について



西南学院大学に対する愛校心について

